

教育部会

令和2年度 活動報告



地域サポートセンター仲よし
川口 芳美

【活動目的】

①学校間(市と県、小・中・高)の連携、および教育と福祉の連携を深めると共に、地域ごとに児童・生徒を支えていくための仕組みづくりを行う。

②特別支援学校高等部3年間で、福祉制度等の必要な情報提供と相談窓口へのつなぎを行う。

【開催】

年4回 岡山県立岡山南支援学校にて

【構成員】

- ・岡山県内特別支援学校(16校)
- ・岡山市障害福祉課
- ・岡山県教育庁特別支援教育課
- ・岡山市教育委員会
- ・旭川荘療育・医療センター顧問
- ・相談支援事業所(各地域部会より)



令和2年度の活動報告

- 4月22日 コアメンバー会議 今年度の教育部会の計画、実施方法を検討
- 7月28日 コアメンバー会議 伝達講習について打ち合わせ
- 8月4日 第1回 伝達講習(福祉制度説明会、地区別懇談会の資料)
今年度の計画および支援学校行事の確認
- 10月20日 第2回 移行支援会議について
研修『医療的ケア児について』
- 12月2日 第3回 移行支援会議について
研修『不登校の生徒と福祉』
- 2月10日 コアメンバー会議 第5回および来年度の部会の実施方法を検討
- 2月19日 第4回 移行支援会議の反省、フクセツの説明会
グループワーク(今年度の反省、来年度の実施方法)



令和2年度の活動実績

①支援学校関連行事について

福祉制度説明会(高1、支援学校職員)・地区別懇談会(高2)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は中止した。

その代わりに、部会で伝達講習を行い、各学校での個別懇談の際に教職員から生徒、保護者に対して、資料をもとに福祉制度等の説明を行った。

高2生徒と相談支援専門員との顔合わせはできず、計画相談支援事業所のパンフレット配布のみ行った。

※生活介護事業所説明会は中止。移行支援会議(高3)は実施した。

⇒今年度の伝達講習では不十分な点もあったため、来年度はオンラインでの開催等、実施方法についても検討していきたい。

②研修の開催

第1回 『医療的ケア児について』

講師：岡山県立早島支援学校 副校長 原田敬子 氏

岡山県重症心身障害児(者)を守る会 副会長 宮木悦子 氏

医療的ケア児について、支援学校教諭、およびご家族から、現状について説明を受け、課題について共有をした。



第2回 『不登校の生徒と福祉』

講師：まな星クリニック/児童発達支援センターまな星 辻 玲奈 氏

不登校生徒の障害特性の理解、そして不登校の予防的な対応が重要であることを学んだ。

③福祉サービスについての説明資料の改訂

福祉制度説明会および地区別懇談会で使用する資料を改訂した。
地区別懇談会の資料については広報部会と連携して、毎月WGを行い、新しい資料を作成した。

⇒ フクセツ(福祉サービス利用の説明資料)



④医療的ケア児の支援に関する検討

医療的ケア児が安心して暮らしていくための支援を協議するWGに部会から参加し、学齢期の医療的ケア児の課題を検討した。

⇒ 課題については、来年度、教育部会の中でも検討していく。